



第80期 報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

世界中のものづくりの 課題解決屋になる

リックスグループは、
“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”と
パートナーとの“協創”により、
世界の産業界の課題解決のための
ソリューションを提供します。

RIX リックス株式会社

世界中のものづくりとネットワークを繋ぐ・創る

「メーカー商社」として

3分でわかる
「リックスとは？」



「メーカー商社」として
4つの機能を融合



「メーカー商社」としての強み・優位性



技術力がある

(自社工場と研究開発施設保有)



取扱品数が多い

(仕入先約3,600社 取扱品数 数万種)



様々な顧客のニーズに応える
高い課題解決力

当社のみが取扱い・販売できる「オリジナル品」

当社商材区分と「オリジナル品」

「オリジナル品」とは、自社製品・グループ会社製品・専売仕入品など、当社のみが取り扱いでき販売できる品群です。

01 自社製品

自社工場で作る製品
例：ロータリージョイントなど

02 グループ会社製品

当社グループ会社がつくる製品
例：バルブなど

03 専売仕入品

当社が独占販売権を持つ仕入品
例：海外製インバータなど

04 一般仕入品

「オリジナル品」

なぜ「オリジナル品」を重要視するのか



優位性・独自性が高い



顧客課題の解決に繋げやすい



メーカー機能強化で海外に打って出やすい



利益率が高い

競争力・優位性・独自性があることで
利益率が高く、海外にも展開可能

「オリジナル品」の一例のご紹介



自社製品ARASEN
(EV・HEV製造工程用)



自社製品D-RAT
(EV・HEV製造工程用)



自社製品エネミックス
(ポータブルハイブリッド電源)



自社製品洗浄装置



専売仕入品
インバータ(海外製)



自社製品
ロータリージョイント



グループ会社製品
加硫機用バルブ

国内外における
幅広い産業界の課題を解決



高い専門性で顧客密着



文字通り“顧客密着” 顧客工場近くに営業所

- 国内41か所、海外7か国12か所に拠点を展開
- いずれも顧客工場の近くに展開し、素早く対応



作業着の汚れは勲章。現場に深く入り込む

- 営業担当は作業着を着て顧客工場に入り込む
- 生の現場を見ることで課題や情報を収集
- 時には顧客と同じように作業着を汚すほど現場密着



115年で紡いだ顧客との信頼関係

- 創業115年以上で培った顧客との関係性で、ほかの商社では知り得ない情報を先回りで獲得
- 課題はチャンス。解決することで更なる信頼関係を構築



ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第80期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第80期報告書をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 **安井 卓**

「協創型メーカー商社」として社内外連携を強化し課題解決力を高め、新たなオリジナル品の供給やビジネス領域の拡大に取り組んでまいります。

Q 当期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は2.0%増の558億27百万円、営業利益は8.9%減の35億37百万円、経常利益は7.2%減の38億97百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は11.9%増の31億80百万円となりました。

当連結会計年度における世界経済は、米国では関税政策の影響等により特に個人消費に景気の下押し圧力が見られたものの、活況なAI関連に対する投資が見られました。欧州では製造業の外需は落ち込みが見られましたが内需は底堅く推移し、中国では不動産市況の低迷の影響が継続して見られました。地域及び需要分野によって景況感に差がありますが、中東情勢の悪化による先行き不透明な状態が見られております。

また、日本経済は、訪日外国人数が継続して過去最高を記録し、サービス産業においては回復基調が見られました。製造業については、活況である半導体関連や人手不足に対応する設備投資等は継続して堅調に推移しました。ただ、世界動向と同様に中東情勢悪化の影響が顕在化し、先行き不透明な状態が見られております。

このような経済環境の中、当社グループでは中期3ヵ年計画「GP2026」に基づく施策に取り組んだ結果、2026年3月期連結業績は、売上高

558億27百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益35億37百万円（同8.9%減）、経常利益38億97百万円（同7.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益31億80百万円（同11.9%増）となりました。

Q 当期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 継続して大多数のセグメントで増収基調ないしは二桁%増の増収となりました。

鉄鋼業界向けでは、海外市場の更なる開拓に加え、生産比例品のみならず整備部門への営業活動にも注力した結果、製鋼工程及び熱延工程向けの設備機器の更新案件や製鉄所内の老朽設備のメンテナンス案件、電炉向けの設備機器の案件等により、売上が増加しました。この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は158億22百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は20億25百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

自動車業界向けでは、CASE市場で注目されている電池やモーター分野への営業・提案活動に注力した結果、電池製造工程向け設備機器の販売や製造工程向け搬送装置類の販売等により、前年同期比で売上が増加しました。この結果、自動車業界向け全体としての売上高は121億79百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は13億66百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

電子・半導体業界向けでは、修理・再生ビジネスに加え、現場・設備・保全部門に対する営業活動に注力した結果、半導体製造装置で使われる各種部材の販売が増加し、当社オリジナル品であるロータリージョイントの販売も増加したこと等により、売上が増加しました。この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は78億58百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は9億59百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、開発部門への営業活動に加え、設備投資に関する営業活動に注力した結果、ユーティリティ設備のメンテナンス案件や海外のタイヤ製造工場向け設備部品の販売等の好調な要因はあったものの、前年同期に発生した大型案件が今期はなく、売上が減少しました。この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は37億64百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益は3億39百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

工作機械業界向けでは、工作機械の5軸化・複合化の要求に対応する用途開発・機器の営業に加え、付帯設備の拡販活動に注力した結果、当社オリジナル品であるロータリージョイントの販売が増加したことや顧客での開発案件に寄与する装置の販売等により、売上が増加しました。この結果、工作機械業界向け全体としての売上高は26億33百万円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益は6億36百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

高機能材業界向けでは、医薬・化粧品分野の開拓に加え、修理・再生ビジネスにも注力した結果、高機能材料メーカーでの能力増強投資に伴う設備機器の販売や生産ライン向け設備機器の販売等の好調な要因はあったものの、前期からの落ち込みを埋めるまでには至らず、売上が減少しました。この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は22億52百万円（前年同期比11.3%減）、セグメント利益は2億45百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

環境業界向けでは、近年重要視されている環境及びエネルギー産業、水処理関連事業への深耕に注力した結果、水処理関連事業向けに設備部品の販売や排水処理設備向けに当社オリジナル品の販売等の好調な要因はあったものの、前期からの落ち込みを埋めるまでには至らず、売上が減少しました。この結果、環境業界向け全体としての売上高は27億42百万円（前年同期比10.0%減）、セグメント利益は2億31百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

紙パルプ業界向けでは、バイオマス素材であるCNF分野やエネルギー・ケミカル素材分野、既存設備のメンテナンス事業への深耕に注力した結果、ポンプ類やフィルター類といった生産活動における設備備品の

販売は好調でしたが、前期からの落ち込みを埋めるまでには至らず、売上は減少しました。この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は8億93百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益は1億7百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

Q 今後の経営ビジョンなどについて教えてください。

A 2027年3月期連結業績の見通しにつきましては、売上高580億円、営業利益42億20百万円、経常利益43億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益30億円を見込んでおります。

日本経済は、活況なAI関連投資やインバウンド需要を背景に緩やかな回復基調が続くことが期待されるものの、物価上昇や金利動向に加え、中東情勢の緊張が続く中での資源価格の高騰に伴う影響などにより、先行きは極めて見通しづらい状況です。また世界経済は、インドにおいて高い経済成長が期待されるものの、中国における不動産市況の低迷の長期化や中東情勢の緊張が続くリスクがあり、収益への影響が懸念されます。

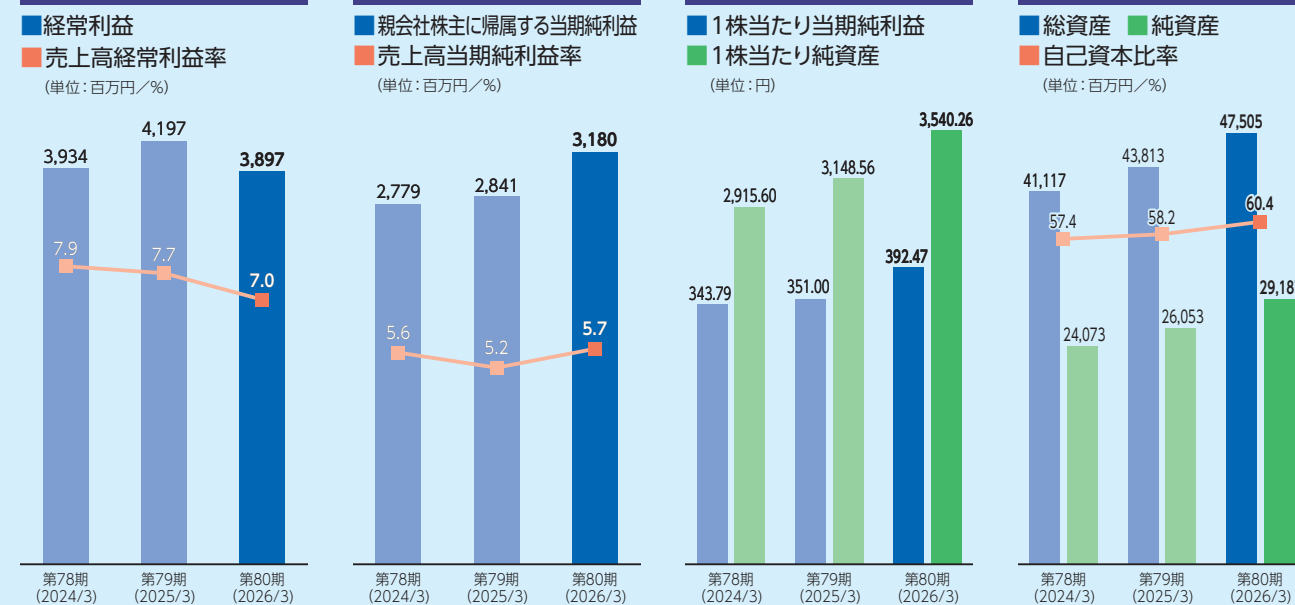
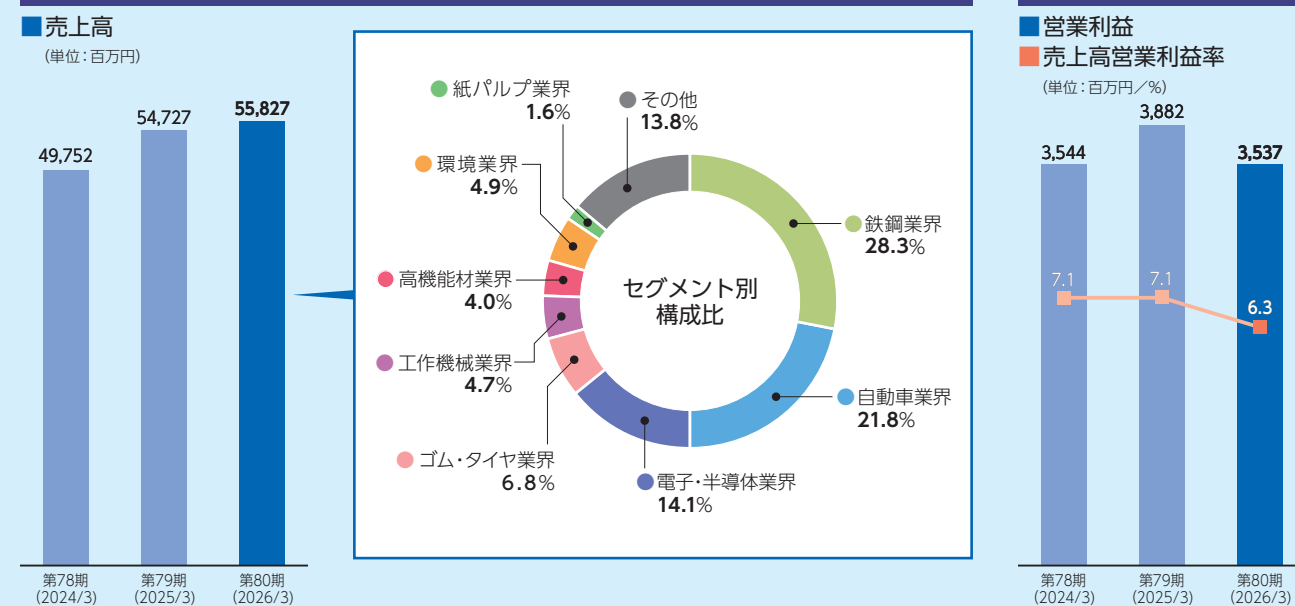
このような中、当社グループでは中期3ヵ年計画「GP2026」の最終年度として、当期に引き続き「協創型メーカー商社」として社内外連携を強化し課題解決力を高め、ビジネス領域の拡大に取り組んでまいります。

以上のことから、2027年3月期連結業績の見通しにつきましては、売上高580億円（前年同期比3.9%増）、営業利益42億20百万円（同19.3%増）、経常利益43億60百万円（同11.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益30億円（同5.7%減）を見込んでおります。

Q 株主様へのメッセージをお願いします。

A 期中に業績予想を上方修正したことに伴い、当期末配当金は1株当たり93円とさせていただきます。

当社では連結株主資本配当率（DOE）4.5%以上かつ連結配当性向40%以上を目標として、経営成績に応じた配当を行うことを基本方針としております。当方針の下、期中に業績予想を上方修正したことに伴い、当期末配当金は1株当たり93円とさせていただきます。これにより年間配当金は1株当たり157円となります。株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



中期経営計画「GP2026」 (RIX Growth Plan)

当社グループは、2024年度より中期3ヵ年計画「GP2026」を下記の通り策定しました。社会課題の解決と経営目標の達成に向かって全社一丸となって取り組んでまいります。

当社グループの
あるべき姿

世界中のものづくりの課題解決屋になる

当社グループの
ビジョン

リックグループは、“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。

定量目標
2026年度

連結売上高 **600億円** / 連結営業利益 **45億円** / 連結経常利益 **47億円**

「GP2026」を達成するための4つの軸

01 ビジネス領域の拡大(連結売上高600億円)

- 現状の業界・業種 (525億円)
- 成長分野 (75億円)
- 海外 (600億円のうち96億円)

02 収益性の向上

- 営業利益率7.5%以上・ROE11%以上(事業活動の効率化)
- オリジナル品比率40%以上(新製品・新商品開発)

03 人材・組織の強化(全体最適・スピードアップ)

- ライフ・ワーク・バランスの充実
- RIXing Actionを実践できる人材の育成・定着
- 協創センターをフル活用する仕組みづくり
- 新システムへのスピーディーな移行

04 ステークホルダーリレーションズの充実

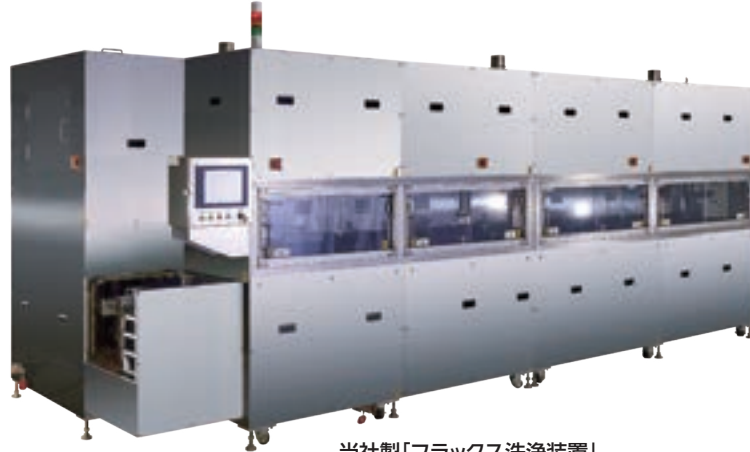
- CSV-Creating Shared Value ビジネスを通じた社会貢献の実行
- ステークホルダーとのコミュニケーション活性化
- ガバナンス体制の強化に向けた取り組みの推進

半導体業界向けの当社動向について【新製品】【受賞】

当社は、半導体業界の発展を支えるパートナーとして、自社製品の開発・製造・販売を一貫して行っております。この度、さらなる技術革新を実現した**新製品の発表**、および当社社員が**アワード受賞**したことについてご紹介いたします。

01【新製品】 AI半導体向け「フラックス洗浄装置」

当社はこの度、実用化が進む2.5次元、3次元実装技術に対応した、フラックス洗浄装置を開発し、特許出願中です。従来の方法では困難であった狭い隙間も洗浄できることが特徴です。



当社製「フラックス洗浄装置」

AI半導体など最先端向け

狭い隙間の汚れを洗浄

半導体製造の後工程で活躍

開発背景

高性能な半導体の製造を行うため、技術が進化。これまで以上に狭い隙間の洗浄が必要になっていきます。

現状と今後

すでに複数の大手半導体関連企業に納入実績がございます。今後も同業界の発展に貢献していきます。

当製品に関する
メディア掲載



02【受賞】 第10回「ものづくり日本大賞」優秀賞

当社社員および福岡県工業技術センター職員の計5名がこの度、**第10回「ものづくり日本大賞」**（経済産業省・国土交通省・厚生労働省・文部科学省で共同実施）で**優秀賞を受賞**しました。



受賞した当社社員と福岡県工業技術センター職員



超精密洗浄が可能なマイクロアイスジェットノズル

受賞案件名

マイクロアイスジェットによる超精密洗浄技術の開発

受賞概要

氷粒子や過冷却水滴からなる「マイクロアイスジェット」を生成、超音速で噴射する超精密洗浄技術を実用化した。

革新的な洗浄手法

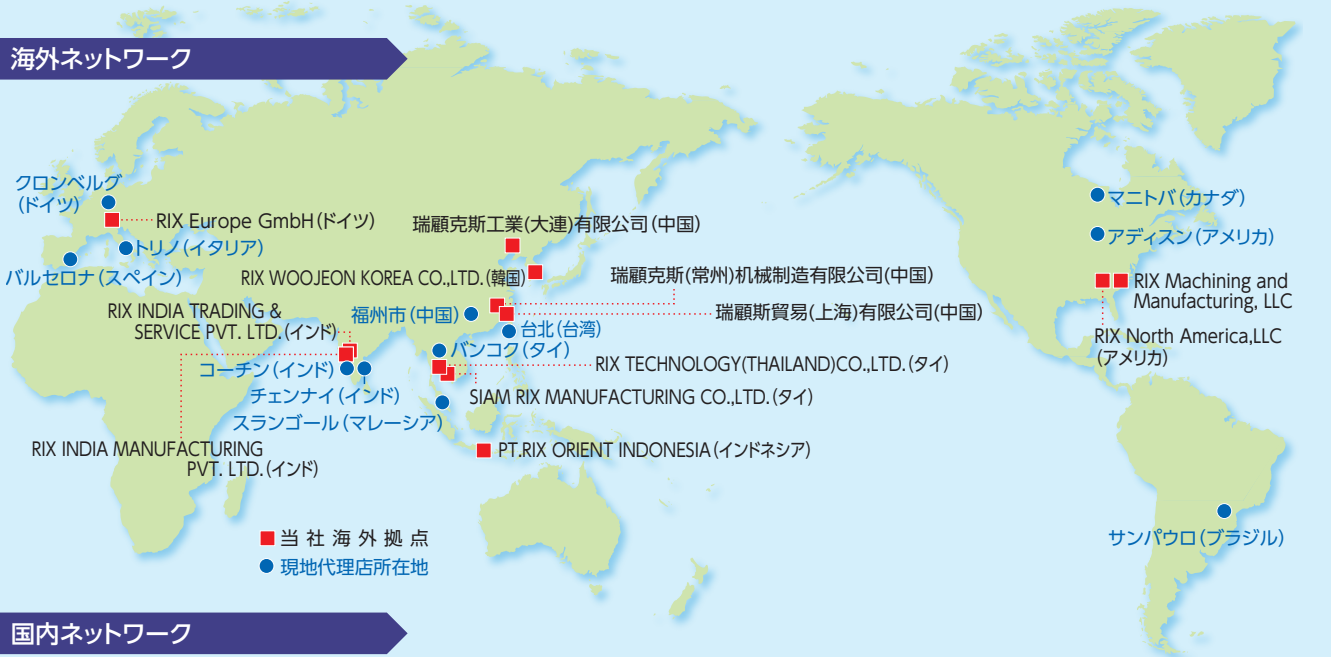
高精度・低コスト・低負荷

市場での高い競争力

当製品に関する
メディア掲載



海外ネットワーク



国内ネットワーク

本社	★管理本部、企画本部
営業本部	■グローバル営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所、碧南営業所、小倉営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、北上営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、姫路営業所、倉敷営業所、広島営業所、福山営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所 ●アジア・ヨーロッパ営業統括部、海外営業部
工場	■福岡事業所 生産本部
研究・開発所	▲中部テクニカルセンター ▲横浜事業所、大阪事業所 ▲リックス協創センター

会社概要

(2026年3月31日現在)

商号	リックス株式会社
英文社名	RIX CORPORATION
創業	明治40年(1907年)10月
設立	昭和39年(1964年)5月
資本金	8億2,790万円
従業員	502名(連結805名)
主要な事業内容	流体応用機器・設置製造販売/ 精密自動・計測機器販売/製鋼副資材等販売

取締役及び監査等委員である取締役

(2026年6月25日現在)

代表取締役 社長執行役員	安井 卓	取締役 (常勤監査等委員)	中山 真一
代表取締役 副社長執行役員	柿森 英明	取締役 (監査等委員)	植松 功(*)
取締役 上席執行役員	大沢 賢司	取締役 (監査等委員)	大山 一浩(*)
		取締役 (監査等委員)	佐藤 佳奈子(*)
		(*) 社外取締役	

株式の状況

(2026年3月31日現在)

●発行可能株式総数	27,600,000株
●発行済株式の総数	8,640,000株
●株主数	11,173名
●大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	875	10.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	528	6.52
リックス取引先持株会	370	4.56
安井玄一郎	243	2.99
リックス従業員持株会	236	2.91
株式会社西日本シティ銀行	191	2.36
園田和佳子	171	2.11
山田貴広	162	2.01
国立大学法人九州大学 総長 石橋達朗	130	1.60
安井龍之助	121	1.49

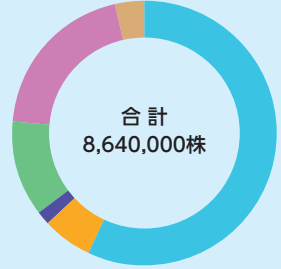
注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式522千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

(2026年3月31日現在)

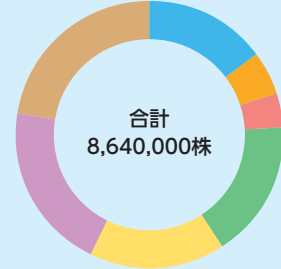
所有者別株式分布状況

■ 個人・その他	57.21%
■ 自己株式	6.05%
■ 金融商品取引業者	1.47%
■ 金融機関	11.79%
■ その他の法人	20.02%
■ 外国法人等	3.46%



所有株数別株式分布状況

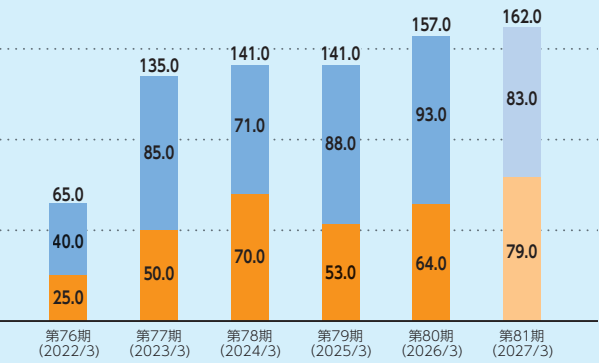
■ 10単元未満	14.78%
■ 10単元以上	5.44%
■ 50単元以上	4.03%
■ 100単元以上	16.67%
■ 500単元以上	16.56%
■ 1,000単元以上	20.21%
■ 5,000単元以上	22.31%



1株当たり配当金の推移

(単位:円)

■ 中間期末 ■ 中間期末予想 ■ 期末 ■ 期末予想



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領 期末配当金 3月31日
株主確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種手続の申込先について

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <https://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

● 割当基準日	3月31日
● 優待内容	
100株以上300株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 1,000円分
300株以上500株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 2,000円分
500株以上1,000株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 3,000円分
1,000株以上10,000株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 4,000円分
10,000株以上 所有の株主様	⇒ クオカード 10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索

